

鎮圧ローラー マウントタイプ

3分割構造で旋回性と作業性を高めた、多用途対応マウントローラー

トラクターのフロント3点リンク（カテゴリー2）に装着するマウントタイプの鎮圧ローラーです。センター・左右の3分割構造を採用することで、旋回時に発生する内輪差による引きずりや牽引抵抗を軽減し、快適な作業性を実現します。

冬の雪踏みから春の小麦踏み、ドリルシーダーとの同時作業まで、さまざまな用途に対応できる高性能モデルです。

特長① 3分割構造で優れた旋回性能

鎮圧部をセンター・左右の3分割構造とすることで、ターン時の引きずりを軽減。作業機やトラクターへの負担を抑え、スムーズな旋回を実現します。

特長② トラクターに合わせたオーダーメイド設計

センター部は5～7本から選択でき、左右のローラー本数も作業幅やトラクターのタイヤ幅に合わせて製作可能です。

人気仕様

- ・フレーム幅：3.5m
- ・ローラー構成：3本 × 6本 × 3本

用途や使用環境に合わせた最適な仕様をご提案いたします。

特長③ 深雪でも高い作業性を発揮

積雪が多い状況でも、ローラーを少し浮かせながら段階的に鎮圧できるため、作業負担を軽減します。

雪を抱え込んで前進できなくなった場合でも、ローラーを上昇させて雪を逃がし、そのまま作業を再開できるのは、マウントタイプならではの大きなメリットです。

特長④ 播種作業との同時作業に対応

フロント3点リンクへ装着することで、前方で鎮圧を行いながら後方のドリルシーダーで播種作業を同時に行えます。

播種深さの安定や土壌との密着性向上により、発芽率の向上が期待できます。

特長⑤ オプションで牽引タイプにも対応

春の小麦踏みなど、広い圃場では牽引タイプが適している場合もあります。

オプションの牽引キットを装着することで、マウントタイプから牽引タイプへ変更でき、季節や作業内容に合わせた使い分けが可能です。

主な用途

- 野良イモ対策の冬季雪踏み
 - 春の小麦踏み
 - ドリルシーダーとの同時播種作業
 - 播種精度・発芽率向上
-

対応仕様

- フロント3点リンク（カテゴリー2）対応
 - センター部：5～7本
 - 左右ローラー：作業幅に合わせて製作
 - 人気仕様：3本 × 6本 × 3本（フレーム幅3.5m）
-

YNK機械のこだわり

お客様のトラクターや作業体系に合わせ、一台一台最適な仕様で製作いたします。北海道の厳しい圃場環境で培った経験を活かし、高い耐久性と作業性を兼ね備えた鎮圧ローラーをご提供します。